

# あきた村だより

## 鹿角市

「北限の桃」を使用した  
ジャムを製造

## レディースファーム



「今年、瓶とラベルをリニューアルした」と  
米田代表

レディースファーム  
►TEL=0186-25-2209

鹿角市花輪のレディースファームでは地元特産の「北限の桃」を使用し、「鹿角の桃ジャム」を製造。果実をふんだんに使用し、モモのごろっとした食感を味わえると評判になっています。ジャムには糖度不足や変形果で出荷できないモモを使用。米田敦子代表(74)が60才で手掛けた果実や、市内の農家から仕入れたものを加工します。

米田代表は「モモはすぐ柔らかくなるので、一気に皮をむく。盆過ぎの収穫最盛期は特に忙しく、10人ほどを雇用する」と話します。皮をむいた後、まずはコンポート(果実の砂糖煮)にし、途中で形が崩れたものをジャムに使用。果実の食感を味わえるように大きめに切り、無添加で製造しています。

商品は「道の駅かづの」や「道の駅おおゆ」などで販売。パンや

アイス、ヨーグルトにかけたり、ケーキのトッピングにしたりするのがお勧めだと思います。

レディースファームでは桃ジャムのほか、アップルパイなど数多くの加工品を手掛けています。「今ある商品を大切に、元気なうちは農業と加工品製造を頑張りたい」と話します。

詳しくは15頁をご覧ください。

大(300g) 1,000円、小(200g)  
650円(ともに税込み)で販売しています

秋田市土崎港西地区の一般社団法人フードバンクあきたでは、各家庭で余った食料や企業で売り物にならない食品を回収し、支援を必要とする個人・団体へ提供しています。

同法人によると、秋田県の食品ロスは全国の中で多いといいます。一方で、食事をせずに学校に行く子供や貧困の高齢者が年々増加しています。林多実代表理事(60)は、「食事だけでなく、体育着を入れる袋すら買えないなど最低限の準備ができない家庭がある。そんな家庭がなくなることを願って支援している」と話します。

集まつた食品は、社会福祉協議会などの行政を通して提供。昨年度は、1月までに863件・17トン

秋田市  
食品ロスや貧困問題削減の一助に  
一般社団法人  
フードバンクあきた



「困っている方々を食料支援で支えたい」と林代表

ほどを届けた  
たどりま  
す。  
また、昨  
年の12月、  
東北6県の  
フードバン  
ク連携セン  
ター」を開  
設。食品の  
流通など、  
県を越えた協力体制を築き活動して  
います。

林代表は「食料支援が必要とされる世の中になつてほしいが、現実はかなり厳しい。要請がある限り、積極的に支援したい」と意欲を見せます。

たどりま  
す。  
また、昨  
年の12月、  
東北6県の  
フードバン  
ク連携セン  
ター」を開  
設。食品の  
流通など、  
県を越えた協力体制を築き活動して

## 仙北市 ドローンスクールが開校 JUAVAC ドローンエキスパート アカデミー 秋田県南校



「無料体験会も行っています」と高橋さん

ドローンの操縦技術などを学ぶスクール「JUAVACドローンエキスパートアカデミー秋田県南校」が今年3月、仙北市角館町の中川コミュニティセンターに開校しました。

ドローンに関する法的整備は絶えず変化しているため、「最近まで合法だったことが、知らないうちに違法となる場面もある。再確認のためにも気軽に訪れてもらいたい」と話します。

昨年、にかほ市に設立された秋田本校の分校として開校。「フライト基本技術コース」など5つのコースが受講でき、中でも農薬散布ができるようになる「空中散布コース」の受講者が多いといいます。

ドローンは農業分野をはじめ、活動の幅が広がっています。教官の高橋周平さん(26)は、「被害調査等の救助支援や避難指示な

ど情報伝達手段としても有効になります。受講して防災や減災に役立ててもらえた」と勧めます。

ドローンに関する法的整備は絶えず変化しているため、「最近まで合法だったことが、知らないうちに違法となる場面もある。再確認のためにも気軽に訪れてもらいたい」と話します。

## 横手市 パワーアシストスーツが 営農継続の一助に (農) きずな 齊藤 龍平 代表理事



パワーアシストスーツを着用して農作業をする齊藤さん

水稻や果樹、野菜などの多品目を105種で栽培する横手市十文字町の農事組合法人きずな。代表理事を務める齊藤龍平さん(62)は、農作業の動作を補助するパワーアシストスーツを活用し、負担軽減に成功しています。

「4年前に突然足が動かなくなったり、歩行が困難になったことがきっかけで導入した」と齊藤さん。株式会社サステクノが介護現場向けに開発した「エアロバック」を知り、2着導入しました。

空気圧式の人工筋肉を原動力とし、中腰や前傾での姿勢維持に使う腰背部の筋肉を補助します。齊藤さんは主にスイカの管理作業で使用し、「中腰姿勢が楽になります。腰を伸ばすために休む回数が減り、作業時間が短縮した」と効

果を実感。管理機をバックで動かし後ろ歩きで行うマルチ張りも、2キロの距離を休憩せずに行えたとあります。

「足が動かなくなった時は農作業ができなくなると思ったが、このスーツに出会えて良かった。今は重いものを持ち上げる力を補助するタイプを法人で導入したいと考えている」と話します。



各家庭や企業から提供された食品

ドローンは農業分野をはじめ、活動の幅が広がっています。教官の高橋周平さん(26)は、「被害調査等の救助支援や避難指示な

ど情報伝達手段としても有効になります。受講して防災や減災に役立ててもらえた」と勧めます。

ドローンに関する法的整備は絶えず変化しているため、「最近まで合法だったことが、知らないうちに違法となる場面もある。再確認のためにも気軽に訪れてもらいたい」と話します。

ドローンは農業分野をはじめ、活動の幅が広がっています。教官の高橋周平さん(26)は、「被害調査等の救助支援や避難指示な

ど情報伝達手段としても有効になります。受講して防災や減災に役立ててもらえた」と勧めます。

ドローンに関する法的整備は絶えず変化しているため、「最近まで合法だったことが、知らないうちに違法となる場面もある。再確認のためにも気軽に訪れてもらいたい」と話します。

ドローンは農業分野をはじめ、活動の幅が広がっています。教官の高橋周平さん(26)は、「被害調査等の救助支援や避難指示な

ど情報伝達手段としても有効になります。受講して防災や減災に役立ててもらえた」と勧めます。

ドローンに関する法的整備は絶えず変化しているため、「最近まで合法だったことが、知らないうちに違法となる場面もある。再確認のためにも気軽に訪れてもらいたい」と話します。

ドローンは農業分野をはじめ、活動の幅が広がっています。教官の高橋周平さん(26)は、「被害調査等の救助支援や避難指示な

ど情報伝達手段としても有効になります。受講して防災や減災に役立ててもらえた」と勧めます。